

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

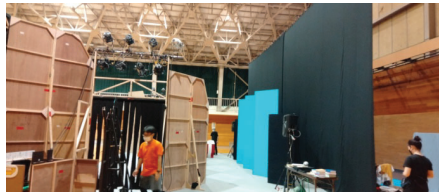
ふりがな 制作団体名	ゆうげんかいしゃ げきだんとうきょうげいじゅつぎ 有限会社 劇団東京芸術座	団体ウェブサイトURL	http://www.tokyogeijutsuza.co.jp/
代表者職・氏名	取締役社長 北原章彦		
制作団体所在地	〒 177-0042 東京都練馬区下石神井4-19-11	最寄り駅(バス停)	西武新宿線/上井草駅
電話番号	03-3997-4341		
ふりがな 公演団体名	げきだんとうきょうげいじゅつぎ 劇団東京芸術座	団体ウェブサイトURL	http://www.tokyogeijutsuza.co.jp/
代表者職・氏名	劇団代表 崎田和子		
公演団体所在地	〒 177-0042 東京都練馬区下石神井4-19-11	最寄り駅(バス停)	西武新宿線/上井草駅
制作団体 設立年月	1964/2/1(登記年月日) 1959年2/1東京芸術座結成		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	劇団代表/崎田和子 取締役社長/北原章彦 制作部長/嶋田みどり 常任幹事/鈴木健一朗	構成員総数/ 65名(演出部/演技部/制作部) 演劇養成機関の卒業生を対象に入団審査を実施。また、演劇未経験者を対象とした「実習生制度」を設けています。	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当を置く	本事業担当者名	北原章彦 鈴木健一朗
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	筒井正彦

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団東京芸術座 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	「パンプキン」って、なに？		
本公演演目	「パンプキン！ -模擬原爆の夏-」(講談社/青い鳥文庫所収)		
原作/作曲 脚本 演出/振付	原作 令丈ヒロ子 照明 関定己 振付 酒井麻也子	脚色/演出 北原章彦 音楽 永橋京子 方言指導 前田剛志	美術 幡野寛 音響 馬上真勝
	上演時間 1時間15分(休憩なし)		公演時間 75 分
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 原作使用料 / 脚本使用料
	該当事項がある場合	権利者名 原作使用料/株式会社講談社 脚本使用料/北原章彦	許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済
演目概要	<p><あらすじ> あたしの苦手ないとこ、たくみがやってくる。いつもノートパソコンとにらめっこして、あたしのことを小ばかにするイヤミな男の子だ。駅に迎えに行ったのに。なんだっけ？ そう、モギゲンバクの慰霊碑を勝手に見に行っちゃった。 「え？モギゲンバクって原子爆弾を落とすための練習用の爆弾なの？」 「え？全然知らなかったよ。モギゲンバクでこの町の人が死んだってこと？戦争なんて遠くの世界で起きた昔のことだと思ってた。」 模擬原爆で多くの人が犠牲になったことに憤るヒロカ。だけども調べていくうちに、原爆研究は日本でも行われていたこと、原爆の被害者は日本人だけじゃなかったこと、日本の戦争加害など多くの事実と直面しどう考えたらいいのかわからなくなってしまふ。</p> <p><登場人物(6人)> 仲井ヒロカ(小5) / 母 / 父 / おじいちゃん / 木南たくみ(小5) / 駅員</p>		
演目選択理由	<p>【児童・生徒の皆さんに広く親しまれている青い鳥文庫を舞台化】 令丈ヒロ子さんの代表作【若おかみは小学生！】シリーズは累計300万部のベストセラーとなり、漫画・TV・劇場版アニメなどで多くの子どもたちに親しまれています。【パンプキン！-模擬原爆の夏-】は2011年に刊行後、2019年には青い鳥文庫版でも出版され、広く長く多くの人に親しまれています。読書後の観劇・舞台参加と連動した企画としてご提案します。</p> <p>【知ることの大切さと平和の尊さ】 この作品は実体験をもとにした児童書です。作者の令丈さんは、ある日偶然「模擬原爆慰霊碑」(大阪府田辺市)を見つけます。太平洋戦争末期、アメリカ軍は日本への原爆投下を成功させるため、練習用爆弾(長崎に投下された原爆ファットマンと同形状・同重量)を製造し全国49ヶ所に投下。それにより400名以上の人が犠牲になりました。 「知ってしまった以上、知らなかったことにはできない。日本中が知った方がいい。特に子どもたちに知ってほしい」 令丈さんは、子どもたちにより身近に感じてもらえるよう、小学5年の女の子を主人公に、同じ年の「いとこ」とおじいちゃんの力を借りながら、夏休みの自由研究【模擬原爆(パンプキン爆弾)】に取り組んで行く物語を書きました。 主人公ヒロカは知らなかったを知りたい！探求心を大きく膨らませることで成長していきます。ヒロカにとって、(世界の)現実には複雑で過去の事実はあまりにも過酷でしたが、持ち前のポジティブさで「わからんなりに進んで行こう、みんなが仲良く暮らせる世界になるまであきらめたらあかん！」と決意します。 是非、皆さんと”知ることの大切さ”と”平和の尊さ”を深く共感したいと思っています。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>1)全体コミュニケーションワークを実施 2)「パンプキン体操」(出演者/3名～5名)ラジオ体操のパンプキンバージョンです。 3)「地下鉄田辺駅前・どちらにお出かけ？」(出演者/3名～5名)駅の改札前、みんなでお話を創作します。 4)「ヒロカと歌って踊ってタクミを捜索！」(出演者/3名～5名)ヒップホップ調のオリジナルダンスです。 *ワークショップ参加者はそれぞれのプログラムで劇団員との交流を深めます。 1)の本公演観劇のみの児童・生徒の皆さんも劇中歌「バケツのおひさんつかまえた」(アニメジャリ子チエEDテーマ曲)を客席で一緒に歌っていただきます(※感染防止対策の為NGの場合もあり)。</p>		
出演者	<p><仲井ヒロカ>今井香澄 <母>樋川人美 <父>梁瀬龍洋 <おじいちゃん>岡橋和彦 <木南たくみ>大橋純子 <駅員>萩原悠太</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 6 名 スタッフ: 6 名 合計: 12 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 8.5 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～12:30		13:30～14:45	0	15:00～16:30	17時00分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	0日	0日	0日	14日	15日		
	11月	12月	1月	計	87日		
	20日	21日	17日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	3～15人		
				鑑賞人数目安	10～700名程度		



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



【公演団体名 劇団東京芸術座】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	3～15名 ※全体ワーク希望の場合は、1学年(50名)程度迄
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>【前半のウォームアップシアターゲーム + 後半の各シーン創造】</p> <p>① 冒頭に全員で簡単なゲームを行ない緊張をほぐし、コミュニケーションを取り易い雰囲気を作ります。またゲームを通じて自分を表現し、仲間の意見を受け入れ、出演場면을創造する基本を体験します。</p> <p>② 各シーンに分かれてワークショップを実施。シーンごとに児童生徒の皆さんが独自のアイデアを加えながら、全員が積極的に一つの場면을創り上げていきます。</p> <p>③ 最後に創り上げたそれぞれの場면을全員で振り返ります。出来栄はもちろん、表現したことが観客にちゃんと伝わっているか？など、本番までにより良くなる方法を全員で考えます。</p> <p>【具体的な実施内容】</p> <p>【シーンA】「パンプキン体操」（出演者／3名～5名応相談）</p> <p>① 参加する児童・生徒の皆さんが三々五々広場に集まってきます。</p> <p>② ラジオ体操が始まる前の友だち同士の会話を考えます。</p> <p>③ 6:30分、ラジオ体操の音楽が流れてきます。各学校オリジナルのラジオ体操を創作します。</p> <p>【シーンB】「地下鉄田辺駅前、どちらにお出かけ？」（出演者／3名～5名応相談）</p> <p>① 地下鉄の改札には顔見知りの駅員さんが立っています。児童生徒の皆さんは、それぞれが出かける設定で改札前に待ち合わせしています。遅れてくる子、お出かけ先の話で盛り上がる人、状況設定を考えて楽しい会話を創作します。</p> <p>② 最後に改札を通過してお出かけです。</p> <p>【シーンC】「ヒロカと歌って踊ってタクミを探索！」（出演者／3名～5名応相談）</p> <p>① 参加する一人ひとりが主人公ヒロカになりきって、大きな声でタクミを探索しています。</p> <p>② 全員が舞台にそろったところで「バケツのおひさんつかまえた」(アニメじゃりン子チエEDテーマ曲)を踊ります。歌の1番はヒロカが踊り、2番の振付は皆さんで創作します。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>① 人前に出て表現する際の緊張や、失敗することへの恐怖心などを一人ひとりが自覚し認め合うことにより、お互いの信頼関係を構築していくことが、実施の重要なポイントです。目標に向かう過程で発揮される、ポジティブな発想力・自発的行動力・コミュニケーション力・それぞれの表現などを最大限に引き出す努力を行います。</p> <p>各々の持っている個性に自信を持つことを目的としています。</p> <p>* 今回のプログラムは体操・ダンスの振付の正確さ以上に、楽しく身体を動かすことを重点に考えています。もう一つのプログラムは言葉を重点に創作する楽しさを考えます。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>特別支援校での実施に関して</p> <p>○台本・公演DVDの事前配布により、作品への興味を引き立てます。</p> <p>○先生方との事前打ち合わせを重視します。実情にそったカリキュラムを作成します。</p> <p>○上演前にバックステージツアーを実施し、安全面に配慮します。</p>		